

織リシス、石切山ノ神

黄綠色ノ大谷石・磨崖觀音像ヲ後ニ、多氣山トイウ靈山マデ、齒ヲクイシバツテ考エテイタ。厄年ノ方難除ケニ参拝スルノダケレド、方難ハイツデモ女偏ノ方角カラヤツテ来ルト、来シ方ヲ、返リ見シ坂道ヲ下リテイッタ。石切場ナノダロウカ、垂直ニ切り立ツ壁ガイクツカ、視界ハ、イツシカ掘削トネルノ闇ニ吸イ込マレテイタ。アレハ古代ノ横穴式住居社、ト考ヘテイルト、先達ノ騙リ詩デ識ツタ、中世ノ修験者ラシキ姿ガ浮カnde、ワタシニ、話シカケタ。

異形ノ方ハ、問ワズ語リニ、
：妻ガ「中有」トイウ難転病ニ陥リ、自分ノ子タチヲ人質ニトリ、家ニタテコモリ、：トウトウ私ハ退職金モ前借りシ、私ノ未来ハ奪ハレテシマッタノデス：。

氣ガツクト、私ハ齒ヲクイシバツテ、バスノ席ニ居タ。氣ガツイタノハ、バスガカーブニ差シカカリ、ブレーキヲカケテ、スピードヲ落トシタタメダッタ。

多氣山マデハ、モウ、一〇分カ一五分、私ハ、別ノ「氣」ガ、窓ガラスカラ入り込ンデクルノヲ認メツツ、大急ギデ、ボールペンヲ走ラセタ、ボールペンヲ走ラセテイタ。一人職員ノ社務所ヲ通り過ギルト、多氣山不動尊ガ目ノ前ニアル。コレハ地ノ氣ワキオコル險シ山、囁イタノハ異形ノ方ナノカ私ナノカ判ラナイ、織リシス、トイフ、女（？）ノ神ガ、路傍ニイタ。

不思議ナコトダ、若クシテ未来マデモ中有ノ妻ニ、奪イ取ラレテシマッタ、ソノ夫ハ、悲シンデハイナカッタ。家族モ、帰ルトコロモナクトモ、モオ、イイノデス。ソシテ、私ノ氣ノミチヲ岸壁にソツテ、下リテ行ツタノダッタ。

社務所デ護摩符ヲ受ケトリ、道バタデナンテンノ枝先ヲ手折リ、後生大事ニ胸ポケットニ収メル。山道ヲ下リナガラ、運氣ノ下リハ転ジラレ、難ハ転ジラレルノダロウカ、ト齒ヲクイシバツテ眩イテイタ。

モオイイノデス。未来ノスベテヲ失イ、捨テ、コノ石切場ノ洞穴ニ住ンデハヤ五十年、観音様ノオカゲデ、尺八ノ音色ト、※ヲ交換スレバ済ム。ソレ以外、夢ナノカ現ナノカ、ワタシニトツテ違イハナイノデス。オーム、ニルバーナ、ニルバーナ：

モオイイノサ。

私コノ土地ノ者ジャナイノデス。
織リシス。

絢爛多色織リナス十二単ダッタ。
(狂おしい石山ノ神)

足元ニ転ガツテイタ苔ムシタ石片ヲ二ツヒロツタ、ヒロツテ急イデバッグニ入レタ。
細イ下リノ道ヲ下リテ、バス停マデ歩イタ。次ノ便マデ、三十分クライ時間ガアル。近クニ盆栽フウノ松ガ生エテイル塚ノヨウナ丘ガアリ、ソコニ立ツテ山々ヲ見渡シテイルト、再ビ異形ノ方ノ声ガ聞コエテ来タ。

モウイイノデス、昼夜ガ転ジ、正気ノ狂気に転ジ、笑顔ガ般若ニ転ジテモ、中有ハ転ジナイノデスカラ：

気ガツクト、松ノ枝ニ古ビタ棕シユロ欄繩ガ、千切レテ風ニ

ユレテイタ。

モウイイノデス、妻の：、「中有」ハ転ジナクトモ…、

多色織リナス十二単ダツタ。

（狂おしい石山ノ神）

私は騙り手なのだろうか。座席に座って、（一ツ松の丘に佇立していた）私？（あるいは誰か）佇立している姿は誰？

多気山ノ気ハ青ク燃へ、薄煙ハ空ニタナビイテイタケレド、天マデハ届イテイナカタ。石片ヲ二個、腹ニノンデ、静カニ、青龍ガ齒ヲクイシバツテ天アマ駟ノボケ上ロウトシテイタ。

（注）

- ・多気山：気は天然ガスをさす。
- ・うちの山のカミは丸ノ内線の方南町駅近くで生まれ育った。
- ・中有：仏教用語で「ちゆう・う」と読む。
- ・転じると別の意味となる。現在は廃語となっている。
- ・ナンテン（南天）：難を転ずる、に通じるといふ。
- ・棕櫚繩：庭師が使う細縄のこと。独特の結び方をする。
- ・騙り：語りの本質を示す。